



都会の雑踏の中、1冊の「雑誌」を高々と掲げじっと立っている人を見かけたことはありませんか？

彼ら・彼女らの売っている雑誌が、『ビッグイシュー日本版』。

この雑誌は本屋では買えない。なぜなら販売できるのはホームレスだけ。

代金300円のうち160円が販売者の収入になるという仕組みで、チャリティではなく仕事を提供し自立を応援する事業であるところがミソ。

そんなことを考えなくても、雑誌として中身だって十分おもしろいのだけれど。(H氏)

※この雑誌は、東京・大阪などでの街頭販売の他にも、ホームページからの通信販売も行っています。http://www.bigissue.jp/

Copyright(C)2010 Big issue Japan

さぼりず

THE COMIC

ichiyu kokoro

第6回

by 一由ココロ

必殺技



遊悠斎 O姫 N助 Pタ



はるみママの 居酒屋NPO エヌピーオー 【第2回】



ねえ～お客さん、さっきからアツいわ。アツすぎるわよ。

ワーロン茶だけで、よくそこまで熱く議論できるわね。うちは居酒屋なんだけど…。お酒も飲まずに、何がそんなにアツくさせてるわけ？

…え? 「酒飲みのグダグダの会話なんて要領

がまとまらないし意味がない」ですって? 「議論と懇親はしっかり分けるべき」ですって?

バカ言ってるんじゃないわよ。

確かに指揮命令系統が厳格な企業体であれば、それだけ明確に区分けしても良いかもしれないけど、市民活動の場合、ほとんどの人が、本業に注ぎ込むパワーの余剰の一部を振り分けて関わっている実態を、忘れちゃいけないわ。

そんな人たちを市民活動に突き動かす原動力は「楽しみ」よ。楽しみがなければ、まとまる話もまとまらないわ。

議論と懇親は渾然一体なのよ。合理化はできないわ。

特に、「持ち出し」の多い市民活動では、エンターテインメントは欠かせないわ。そこに「ノミネーション」の価値があるわけ。

心と言葉をなめらかにする潤滑油なのよ、お酒は。

堅苦しいことばかりウダウダ言ってないで、あんたもこれ飲みなさいよ。え? このお酒? 「ポンッ!」ってお酒で、煩惱を取り除いてくれるらしいわよ(笑)

ほら、ぐいっといきなさい!! 話はそれからよ!

◆はるみママからひと言

ノミネーションの精神は(「日本全国酒飲み音頭」+「帰ってきたヨッパライ」+「酒と泪と男と女」)÷3よ!



女性の「地雷」のアリカは永遠の謎だなあ...

広報サポーター募集中!!

★簡単なお手伝いでもOK。個性的な仲間が揃ってます☆
詳しくは、(特)さばえNPOサポート事務局・松田まで。

編集・お問い合わせ

非特定営利活動法人 さばえNPOサポート

〒916-0024

福井県鯖江市長泉寺町1丁目-9-20 鯖江市市民活動交流センター内

TEL:0778-54-7055 FAX:0778-54-7058

[Eメール] info@sabae-npo.org

[ホームページ] http://www.sabae-npo.org

◇よりホットな情報をお届けするメールニュースも開始しました。
アドレスの登録は、ホームページのトップから!!